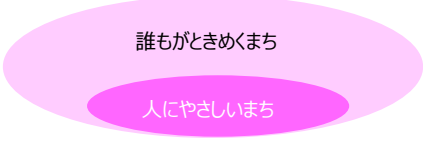


10月23日時点でお送りした素案に対するご意見等を踏まえた対応状況について

資料 2

No.	ご意見の内容	委員名 所管課名	頁	変更の有無	対応状況
豊島区における観光の現状と課題					
1	「エンターテイメント」を「エンターテインメント」に修正。	委員	26	変更あり	英語の発音に忠実な「エンターテインメント」に修正します。
目 標					
2	観光プランの目標というより、街づくりの目標のように感じたのですが、それは、前回の委員会の時にもでていた「観光は街づくり」という考えからきているのでしょうか。街づくりを観光という視点から捉え、このような街を実現していけば、よりよい観光になっていくと考えてよいでしょうか。	委員	34	変更なし (趣旨は 反映済)	目標の説明文に「豊島区にある多彩な文化に、区民はもちろん来街者が期待やワクワク感を持てるよう、区と事業者で連携をして魅力の磨き上げを行います。これにより、区全体が「住みたい・訪れたい」まちになり、消費活動も促されることで、持続可能な都市を実現する」旨記載済。 「住みたい・訪れたい」まちを作っていくことによって、多くの人々を惹きつけていくという、まさに、「観光は街づくり」の観点を踏まえた観光振興プランの構成となっています。
3	この目標だと多彩な文化だけになってしまう印象を受けます。説明文に「多彩な文化に区民や来街者が期待やワクワク感を持てるように」と記載があるように文化だけになってしまいます。これにより、「住みたい・訪れたい」まちになり持続可能な都市にとありますが、文化だけで住みたいとはならないと思います。戦略2の内容が大切だと考えますが、その内容はこの目標から読み取れません。「多様な人にやさしい」や「やさしい空間」など、他の言葉でもいいので目標に戦略2の内容がイメージできる言葉がほしい。	委員	34	変更あり	戦略2では、「人が主役のまちづくり」を謳っています。 目標の「誰もがときめく都市」の記載が、区民も来街者もあるいは、高齢者も子どもも障害者も外国人も豊島区を訪れた誰もが主役となって、多様な人々にやさしいまちを実現することを表しています。 目標が包含する意味を、以下のように説明文で補足します。 【変更前】これにより、区全体が「住みたい・訪れたい」まちになり、消費活動も促されることで、持続可能な都市を実現します。 【変更後】これにより、区全体が「住みたい・訪れたい」まちになり、消費活動も促されることで、 多様な人々が主役となって輝く人にやさしい 持続可能な都市を実現します。 【イメージ】 
4	目標のサブタイトル「～オールとしまで推進する持続可能な都市の実現～」はあった方がよい。「賑わう・ときめく」などの言葉だけだと、安心感や過ごしやすさ（住民は住みやすさ、旅行者は旅のしやすさ）などの面が抜けてしまうのではないか。	委員	34	変更なし (趣旨は 反映済)	SDGs未来都市の推進については、当然の前提となっていることから、目標のサブタイトル「～オールとしまで推進する持続可能な都市の実現～」及び戦略2で頭出ししていた「SDGs未来都市」は削除しています。 目標の説明文において「持続可能な都市を実現」する旨記載しています。 住民としての住みやすさ、旅行者としての旅のしやすさについては、目標が実現したあるべき姿である基本方針3「住みたい・訪れたい」まちの実現に含んでいます。

No.	ご意見の内容	委員名 所管課名	頁	変更の有無	対応状況
戦略1 多様な文化資源の発掘と活用					
5	施策2「国際文化都市としまのイメージ醸成」について、「アート・カルチャー」を分かりやすく伝えるために、「文化によるまちづくり」と言い換える。	文化デザイン課	39	変更あり	以下のように変更。 【施策2 説明文】 ～トキワ荘マンガミュージアムをはじめとした アート・カルチャー 文化によるまちづくりの舞台が整いました。 【施策の方向性①】 Hareza池袋をはじめとした舞台からの アート・カルチャー の魅力発信 【施策の方向性① 説明文】 ～様々な舞台の整備が終わり、これらを活用した アート・カルチャー 文化によるまちづくりの魅力を発信し、人が主役の劇場都市を目指します。
6	施策の方向性②「花と緑による地域の魅力増進」について、令和5年4月に改定した「豊島区みどりの基本計画」に基づき、みどりの将来像を踏まえた記載に変更。	公園緑地課	40	変更あり	施策の方向性②を以下のように変更。 【変更前】 ②花と緑による地域の魅力増進 ～豊島区は23区で緑被率が下位となりますが、貴重な花と緑の魅力を増進し、区民の憩い及び来街者の誘客につなげます。 【変更後】 ②花とみどりによる地域の魅力増進 ～豊島区は23区で緑被率が下位となりますが、 民間を含めた身近なみどりを増やし、四季を感じるネットワークを図ることにより、区民はもとより来街者にも喜んでもらえるみどりの都市空間を創出します。
7	写真の意味が分かるよう「ジモトシマ」というキャプションの変更が必要。	委員	40	変更あり	写真下のキャプションを「ジモトシマライターによる記事を掲載するJIMO-Toshima」に変更。
戦略2 ウォークアブル都市として人が主役のまちづくりの推進					
8	「ウォークアブル都市」「ユニバーサルツーリズム」「アクセシブルツーリズム」といったカタカナの語句の意味は通じるのでしょうか。	委員	36	変更あり	「ウォークアブル都市」「ユニバーサルツーリズム」「アクセシブルツーリズム」については、コラムとして用語説明を追記。
9	施策の方向性①「多様な文化・習慣等への対応力強化」の説明文について、まちを訪れる側、まちへ迎え入れる側双方がそれぞれの習慣への配慮についての理解を促進する観点を記載した方がよい。	生活産業課	42	変更あり	施策の方向性①の説明文を以下のように変更。 ～心地よく過ごすためには、 まちを訪れる側と迎え入れる側双方がそれぞれの習慣へ配慮する必要があります。 ムスリムやベジタリアン、ヴィーガン等への配慮についての理解を促進するとともに、来街者にも日本独特の文化やルールについて周知していきます。

No.	ご意見の内容	委員名 所管課名	頁	変更の有無	対応状況
10	施策の方向性②「アクセシブルツーリズムの推進」の説明文について、バリアフリーの観点から文言を修正。	福祉総務課	42	変更あり	施策の方向性②の説明文を以下のように変更。 ～障害者や高齢者、ベビーカーの利用者等、誰もが安心して街なかを回遊できるよう、バリアフリー化を促進するとともに、バリアフリーマップ等を通じて、バリアフリー情報を提供します。また、外国人を含めて街なかで不便を感じている方を理解し、気遣い、協力して手助けができるように、心のバリアフリーへの取組を推進します。
11	施策の方向性③「ユニバーサルデザインの促進」の説明文について、ユニバーサルデザインの観点から文言を修正。	福祉総務課	42	変更あり	施策の方向性③の説明文を以下のように変更。 年齢や性別、国籍を問わずすべての人が利用しやすいまちとなるよう、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、洋式トイレへの改修や民間事業者との連携による統一した観光案内サイン、情報ツールの整備及び多言語対応等分かりやすいサインの整備を行います。
12	施策の方向性③「民間事業者と連携したSDGsの取組推進」の説明文について、文言を修正。	SDGs未来都市推進課	43	変更あり	施策の方向性③の説明文を以下のように変更。 区制90周年記念事業における企業実行委員会から発展したチームとしまをはじめとした民間事業者と連携し、区が進めるSDGsの取り組みをまち全体へと広げていくためと、民間事業者による取組を後押し、持続可能な観光地域づくりを行います。
13	施策の方向性④「地域や環境に配慮した観光消費の推奨」の説明文について、文言を修正。	SDGs未来都市推進課 生活産業課	43	変更あり	施策の方向性④の説明文を以下のように変更。 SDGsの目標の一つである「つくる責任、つかう責任」を実現するため推進する観点から、民間事業者に対し人・社会・地域・環境に配慮した行動を促すとともに、まちを訪れる一人一人に対して地域や環境に配慮した観光消費を促します観光消費の面においても持続可能なまちづくりに取り組みます。
14	「チームとしま」のコラム（用語説明）について、文言の修正。	SDGs未来都市推進課 シティプロモーション担当課	43	変更あり	「チームとしま」のコラム（用語説明）を以下のように変更。 区制90周年を契機に、民間企業を含め業種や業態を超えた「チームとしま」が発足しました。誇りや愛着を抱く「まちづくり」を目指し、仲間の輪を広げ業種を超えた、官民で「考えて」「動く」新たな企業連携プラットフォームです。
15	施策の方向性③「量よりも質を重視した高付加価値施策の展開」の説明文について、「稼げる地域」の補足説明をする文言の修正。	生活産業課	44	変更あり	施策の方向性③の説明文を以下のように変更。 地域住民と来街者との間に生じるマナーなどの問題を最小限にし、来街者数だけでなく一人当たりの観光消費額を拡大する「稼げる地域」を実現するため、ターゲットを意識し、量よりも質を重視した効果的な観光施策を展開することにより、「稼げる地域」を実現します。

No.	ご意見の内容	委員名 所管課名	頁	変更の有無	対応状況
16	施策の方向性②「多様な来街者への発災時の対応強化」の説明文について、文言を修正。	防災危機管理課	45	変更あり	<p>施策の方向性②の説明文を以下のように変更。</p> <p>まちに不慣れな来街者が発災時に安心して対応できるよう、警察、消防、鉄道事業者や民間事業者等と連携して危機管理体制を構築します。また、大地震発生時には、安全な建物であることや一時滞在施設への案内等について、本区ホームページやデジタルサイネージ等を活用した情報発信を行います。特に、とは別に総合防災システムに連動した防災ホームページや防災アプリの導入を目指します。また、訪日外国人に対しても、多言語での防災情報の提供体制を整えます。</p>
戦略4 産業と観光の融合による新たな価値の創造					
17	施策の方向性①「商店街振興と融合した観光施策の展開」の説明文について、産業振興指針の記載との整合を図るため、文言を修正。	生活産業課	48	変更あり	<p>施策の方向性①の説明文を以下のように変更。</p> <p>～商店街を観光名所のひとつとして、そこでしか買えない銘品をPRし、大観光客を呼び込む取組を進めています。トキワ荘通り商店街や巣鴨地蔵通り商店街などのように～</p>
18	施策の方向性②「区内銘品及び伝統工芸品の販路拡大、発信強化」の説明文について、産業振興指針との整合を図るため、文言を修正。	生活産業課	48	変更あり	<p>施策の方向性②の説明文を以下のように変更。</p> <p>豊島区内でしか買うことのできない銘品や伝統工芸品、伝統芸能の体験型コンテンツをファーマーズマーケットやで販売したり、ふるさと納税の返礼品など、区が有するとする他、伝統工芸を体験型コンテンツとして活用するなど、販路を活用し、拡販し、広くPRすることで、豊島区内銘品のファンを増やし、消費額の拡大へつなげていきます。</p>
19	施策の方向性①「観光産業の経営力基盤強化」を「観光産業の経営基盤強化」に変更し、説明文についても、より分かりやすい表現に修正。	生活産業課	49	変更あり	<p>施策の方向性①の説明文を以下のように変更。</p> <p>区内の魅力ある各地域に今後も多くの来街者を惹きつけていくには、おもてなしをする観光産業の持続的な発展が必要不可欠です。としまビジネスサポートセンターと連携した販路・売上拡大セミナーや相談事業等の実施により、なくては持続可能な観光地域経営は不可能となります。観光産業の経営力強化を支援していきます。高付加価値化を図っていきます。</p>
20	施策の方向性②「観光産業の担い手育成」の説明文について、文言を修正。	生活産業課	49	変更あり	<p>施策の方向性②の説明文を以下のように変更。</p> <p>～育成していく必要があります。民間企業と協力して、区の観光情報の周知を定期的に行うなど、働き手のおもてなしへの意識づけを行っていくことで、観光産業の高付加価値化を図り、働き手にとっても魅力ある仕事となるよう支援していきます。高付加価値化を図り、人材確保を図っていきます。</p> <p>また、次世代の人材育成として、関連部署、関係団体と連携し、IKEBUSアトカルツアーや就業体験やものづくり体験などを通して次世代を担う子どもたちに区内観光産業に触れる機会を提供します。</p>

No.	ご意見の内容	委員名 所管課名	頁	変更の有無	対応状況
21	施策の方向性①「ニーズに対応した多様な宿泊施設の提供」の説明文について、文言を修正。	生活産業課	50	変更あり	<p>施策の方向性①の説明文を以下のように変更。</p> <p>～それぞれが快適に過ごすことができ、滞在に満足していただけるよう、事業者と連携をしてサービスの高付加価値化及び多様な～</p>
全 体					
22	写真下のキャプションの文字が大きい。	委員	全体	変更あり	<p>写真下のキャプション及びクレジットのフォントの大きさが11ポイントになっているので、図表の出典の記載と同様に大きさを9ポイントとします。</p>